

ホームページの活用

ミニアーティストコンテストに参加して

この D-project に参加させていただいて、実践してみたいことの一つとして、「写真を加工する力を子ども達につけたい」ということでした。そんなときに、ちょうどこの『ミニアーティストコンテスト』を知ったのです。第1回目は、「ぼく・わたしのお気に入り写真コンテスト」でした。コンテストにも参加できるし、写真の加工にもつなげられるということでコンテストへの参加が始まりました。そして、3回とも参加することになってしまったのです。3回とも参加したのは、それなりの良さがあったからです。

1. 「ぼく・わたしのお気に入り写真コンテスト」への参加

- デジカメの使い方の指導 -

まず写真をとるにあたって、デジカメの使い方をくわしく説明した。子ども達は、興味を示し、真剣に聞いていた。あっという間に半数近くの子が使い方をマスターし、後は子どもどうして教え合って使うことができた。デジカメが5台しかなかったこともあり、6人グループで1台ということになってしまった。

20分程度時間を与え、自分の気に入った場所を写真に撮ってきた。時間内にできなかった子は、休憩時間を使って撮っていた。楽しんでいるから、「休憩できない」なんて怒る子はいない。

お気に入り写真もいくつかとれ、いよいよパソコンへ保存。写真に名前をつけて、フォルダに保存した。これで完成です。

(応募は、教師がしました。)



子どもの作品

2. 写真をデザインしよう

- 写真の加工 -

写真を加工し、そのできばえを鑑賞する目的で、お気に入りコンテストに応募した写真を加工してみた。フォトショップエレメンツの機能「フィルタブラウザ」「エフェクトブラウザ」を利用してみるとおもしろいことを伝え、自由に加工させてみた。子ども達は大喜びでいろんな機能を試していた。



3. 年賀状を作ろう

- お絵かき -

自分なりに文字や絵を工夫して、年賀状をつくってみた。手書きでつくる年賀状とはひと味違った年賀状をつくることができた。つくった年賀状を友達同士で見せ合うことで、いろんな表現方法があることに気付くことができた。おもしろかったのは、ここでも自分の作品に「フィルタ」や「エフェクト」をかけていたことである。



4. 「自分の学校のオリジナルキャラクターをつくろう」への参加

－ ワークシートの利用 －

学校や地域の特徴を考えながら自分のオリジナルキャラクターを作り出すというとてもおもしろい企画であった。単なるお絵かきとは違い、学校や地域のことをよく考えなければならない。どのように指導するか考えていたところ、ホームページ上にワークシートが掲示された。これを使って指導することにした。子ども達は、それぞれ思い思いのキャラクターを紙に描いた。それをパソコンで、今まで学習したスキルをいかし、作品を仕上げた。



5. 「一年間の思い出アルバムコンテスト」への参加

－ 複数の写真の貼り付け －

このコンテストは、一年間の活動をデジカメで記録してきたものを閲覧し、自分の気に入った写真を選んで作品を作っていた。時期的に厳しいものがあり、時間を十分にとれず、1枚だけの作品になってしまったが、子ども達はとても楽しみながら作業していた。今まで身につけてきたスキルをいかすことができた。このころになると「先生ちょっと来てー」がずいぶん減っていた。



「子どもたちの変容や向上した力」

これらの実践を通して一番大切なのは、子ども達にどのような力がつきたかと言うことである。主に図画工作科の表現や創意工夫、鑑賞などの能力がついたと思われる。それから、画像処理ソフトを使う力（スキル）も向上してきた。実践を進めるにしたがって、子ども達からのパソコン操作に関する質問がすごく減ってきた。スキルアップの証拠である。

※ 使用した情報機器やソフト

デジタルカメラ5台、フォトショップエレメンツ、キューブ2